

Course number		U-LAS70 10001 SJ50			
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：フランス学に触れる ILAS Seminar :Getting in touch with French Studies		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Research in Humanities Professor,TSUIKI KOUSUKE Institute for Research in Humanities Professor,MORIMOTO A T S U O Institute for Research in Humanities Associate Professor,SUGAWARA YURIE	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman) 15 (15)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Fri.5
Classroom	Seminar room 2 (room 102), Institute for Research in Humanities Main Bldg. (Main Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	地域研究（フランス）／思想／文学／歴史／音楽				

[Overview and purpose of the course]

フランス学に触れる 思想・文学・言語・音楽
 近現代のフランス文化は、絶対主義から革命を経て共和国へと変遷する歴史の流れを背景に、独特の洗練と先鋭性を加え、ヨーロッパのみならず世界各地で大きな影響力をもってきた。まただからこそ、20世紀後半のフランスでは、多くの思想家や芸術家が、同時代の社会や個人のありかたを根本的に問い直すような仕事を生み出すことにもなった。本セミナーでは、16世紀から20世紀まで、フランスで提起されてきたさまざまな問題を取りあげ、それを代表的な思想家・作家の作品や具体的な歴史的文書に即して議論しながら、近現代のフランス文化にじかに触れ、その特質を理解すること、そのような作品を生み出したフランス語の特徴について認識することを目的とする。また、フランスのみならず、近現代のヨーロッパの歴史と文化を理解したり、現代の思想・文学・音楽・社会などの諸問題を考えるうえで必要となる基本的な概念を知り、理論的な理解を深めることを目指す。さらに、日本とフランスの文化交流史を踏まえ、日本からフランスに留学する意義を考察するとともに、その可能なルートを紹介する。

[Course objectives]

- ・近現代フランスで生まれた作品の一端に触れることで、広くフランスやヨーロッパの文化や歴史にかんする教養を身につける。
- ・近現代フランスやヨーロッパに由来する人文社会系諸学の基礎概念の歴史的背景を理解し、理論的な素養を身につける。
- ・講師によるテキストや画像、映像の読解や解釈の実演を通じて、思想研究・文学研究・歴史研究などの手法に触れる。

[Course schedule and contents]

- 1) 授業ガイダンス
- 2) パスカルとその時代
- 3) フランス近現代詩 言葉のかたちに触れる
- 4) 近代科学の創生：近世・近代のフランスの科学者たち
- 5) プルースト『失われた時を求めて』を読む
- 6) 19世紀のグランド・オペラとピアノ音楽：G・マイアベーアの《ユグノー教徒》をめぐる
- 7) 19世紀の歌姫たち 天使の声、蓄音機の声
- 8) 自己を語ること：ルソー『告白』を読む

Continue to ILASセミナー：フランス学に触れる(2)

ILASセミナー：フランス学に触れる(2)

- 9) 京都における日仏文化交流史 関西日仏学館を中心に
- 10) 日本語とフランス語はどれくらい似ていて、どれくらい違うのか
- 11) カミュ『ペスト』を読む(1)
- 12) カミュ『ペスト』を読む(2)
- 13) フランス「で」学ぶ フランス留学の主要なルート
- 14) 授業のまとめ
- 15) フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

評価は平常点（授業への参加度、各回の課題：90％）と期末レポート（10％）によって行う。

[Textbooks]

セミナー各回でとりあげるテキストや画像は、プリントで配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

とりあげるテキストや画像はできるかぎり事前に配布するので、履修者には配布されたプリントに目を通しておくことが望まれる。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]